

# 顔認証サーバーソフトウェア WV-ASF950 シリーズ V1.xx/V2.xx/V3.xx から V4.11 へのアップデート手順

登録顔検知モード、登録顔/未登録顔検知モード、どちらの場合も本ツールでバージョンアップが行えます。

V1.xx/V2.xx/V3.xx から V4.11 へバージョンアップすると、顔認証エンジンが変わるため、運用に合わせてアラーム感度の再調整が必要になる場合があります。

V4.xx では、さまざまな環境での検証結果から顔登録におけるアラーム感度の推奨値を

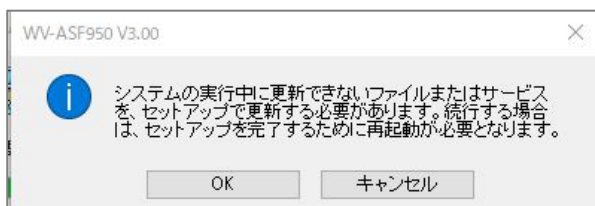
マスク無し : 1.04    マスクあり : 1.12

としています。

ご使用の環境や登録されている顔画像によって、その感度は変わってきますので、推奨値をベースに現場でアラーム感度を調整してください。

アラーム感度を変更する場合は、手順「4.アラーム感度の調整」をごらんください。

古いバージョンの WV-ASF950 をアンインストール後に PC の再起動を促すメッセージが表示される場合がありますが、再起動はせずにアップデートツールの表示にしたがって操作を進めてください。

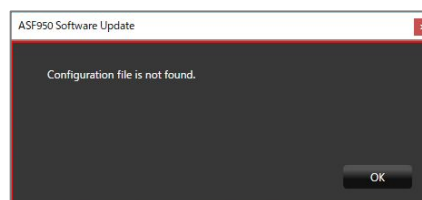
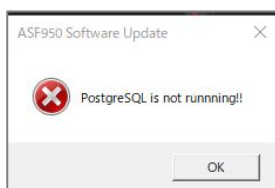


デフラグの実行時間、Synergis 情報の同期の実行時間が本バージョンアップで初期値に戻ります。

手で実行時間を変更している場合は、バージョンアップ後に再度設定をしておいてください。

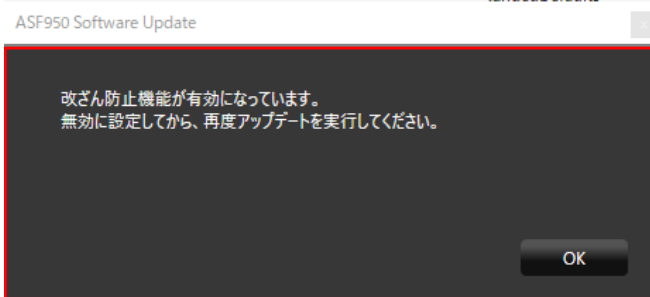
- ・ デフラグの実行時間 初期値 : 毎週月曜日 4:00-5:00
- ・ Synergis 情報の同期の実行時間 : 初期値 毎日 3:00

「PostgreSQL is not running!」、「MDDb backup error」、「Configuration file is not found」のメッセージが表示される場合は、販売店へお問い合わせください。



改ざん防止機能が有効になっているメッセージが表示される場合は、改ざん防止機能を無効にしてから、再度アップデートを実行してください。

無効の状態でもこのメッセージが表示される場合は、一度有効にしてから再度無効にし、アップデートを実行してください。



## 概要

バージョンアップは、以下 2 つのツールを用いて実施します。

- ・Config ツール : WV-ASF950 ConfigurationTool (デスクトップのショートカット)
- ・アップデートツール : UpdateTool\_for\_ASF950\_V1-V3\_to\_V4\_11

※各ツールは USB メモリ等から直接実行せず、デスクトップ等のローカルディスク上にコピーしてから実行してください。  
※ASF950 のバージョンは、C:¥ASF900¥version ファイルをメモ帳などで開いて確認してください。

以下の手順を実施します。

項番	手順	内容	使用するツール
1	システムの停止	システムを停止し、サーバーの種別（マスターかスレーブか）の確認をします。	Config ツール
2	システムのアップデート	更新ファイルのコピー・システム設定の更新を行います。	アップデートツール
3	システムの起動	バージョンが更新されていることを確認し、システムを起動します。	Config ツール
4	アラーム感度の調整	運用に合わせてアラーム感度を再調整します。	バッチファイル WV-ASM300
5	カメラ情報の更新	マスク顔検出するカメラの情報を更新します。	Config ツール

また、サーバーの稼働状況を逐次確認するために顔認証サーバーエラー通知ツールを任意の PC にインストールしてください。

※既存の顔認証サーバーエラー通知ツールのアンインストールから実施する必要がありますが、設定していた IP 情報はアンインストール後も残るため、最新版をインストール後に再度サーバーの登録をする必要はありません。

以下の手順を実施します。

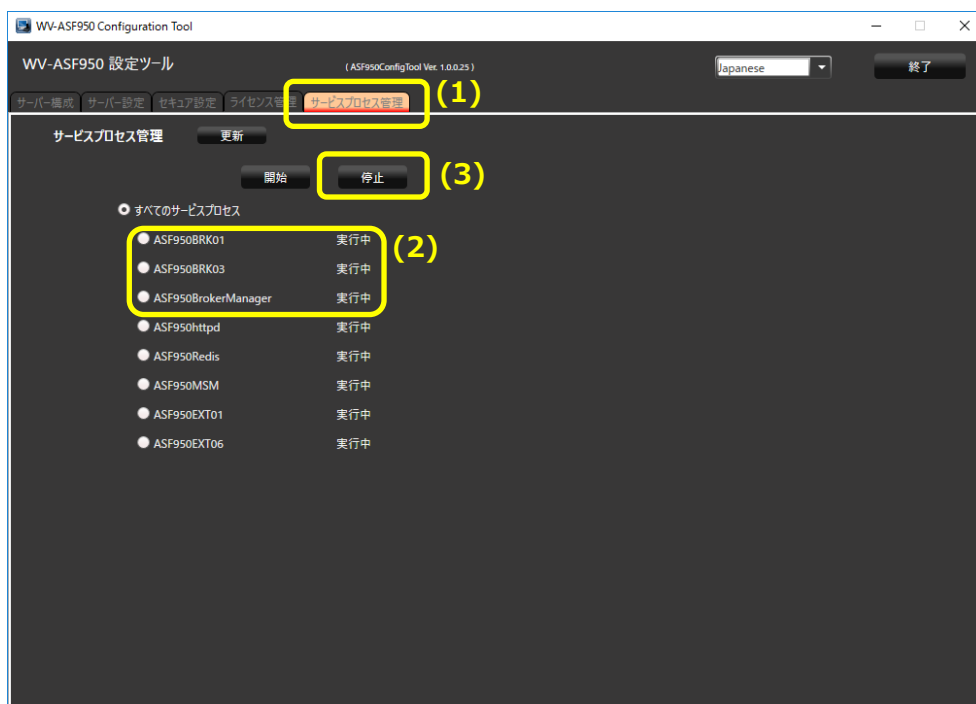
項番	手順	内容
1	アンインストール	前バージョンの顔認証サーバーエラー通知ツールをアンインストールします。
2	インストール	任意の PC 上で顔認証サーバーエラー通知ツールのインストールを実行します。
3	サーバーの登録	顔認証サーバーエラー通知ツールにサーバーを登録します。

## サーバーソフトウェアのバージョンアップを各サーバーPC 上で行います

1 2 3 4 5

### 1. システムの停止

- (1) Config ツールを起動し、「サービスプロセス管理」タブをクリックします。
- (2) 以降の手順を進めるために サーバーが「マスター」か「スレーブ」かの判断を行います。  
図の(2)の枠内の表示が「未インストール」となっている場合は「スレーブ」です。  
それ以外の場合は、「マスター」です。  
(以下の画面はマスターの例です)
- (3) 「すべてのサービスプロセス」がチェックされていることを確認し、「停止」ボタンをクリックします。



- (4) すべてのプロセスが「停止」となっていることを確認し、「終了」ボタンをクリックして、Config ツールを閉じます。

1

2

3

4

5

## 2. システムのアップデート

デフラグツール(Contig)が以下の場所にインストールされているか確認してください。

C:¥Contig¥Contig64.exe

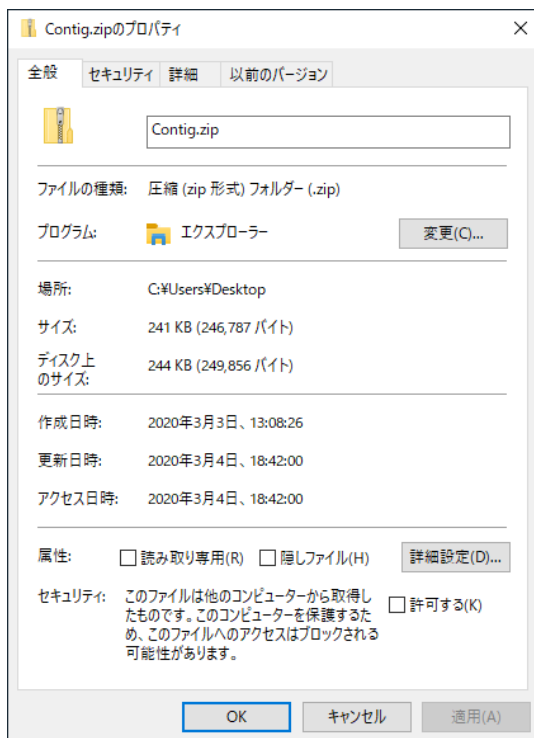
インストールされている場合は (1) 以降を実行してください。

インストールされていない場合、デフラグツール(Contig)をインターネットに接続可能な PC からダウンロードしてください。

※ バージョン 1.8.0.0 以降のものをダウンロードしてください

URL : <https://docs.microsoft.com/en-us/sysinternals/downloads/contig>

ダウンロードした Contig.zip を右クリックしてプロパティ画面を開いたときに、下図のようなセキュリティ表示がされる場合は「許可する(K)」にチェックを入れて「OK」をクリックしてください。



Contig.zip を解凍し、Contig64.exe を ASF950 をインストールする PC の “C:¥Contig¥Contig64.exe” の場所に配置してください。

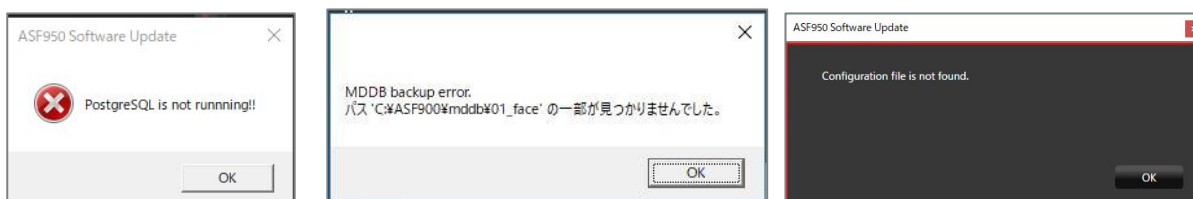
※ 実施後、本ツールを実行する必要はありません。アップデートツールによるアップデート後、毎週月曜日の4:00に自動で実行されるようになります。最適なデフラグメンテーションを行うためには本ツールが必須であり、Contig をインストールしないと ASF950 をアップデートすることができません。

更新ファイルのコピー・システム設定の更新を、アップデートツールで行います。

- (1) 「UpdateTool\_for\_ASF950\_V1-V3\_to\_V4\_11¥WV-ASF950¥04\_Tools」フォルダ 内の「ASF950UpdateTool.exe」を実行します。

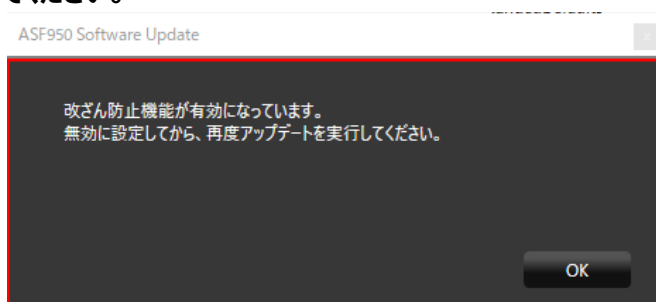
※デスクトップ等のローカルディスク上にコピーしてから実行してください

**「PostgreSQL is not running」、「MDDB Backup Error」、「Configuration file is not found」のメッセージが表示される場合は、販売店へお問い合わせください。**



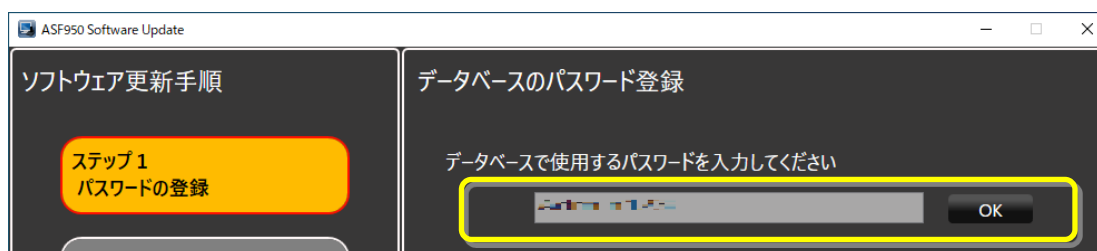
**改ざん防止機能が有効になっているメッセージが表示される場合は、改ざん防止機能を無効にしてから、再度アップデートを実行してください。**

**無効の状態でもこのメッセージが表示される場合は、一度有効にしてから再度無効にし、アップデートを実行してください。**



- (2) データベースのパスワードの入力・確認

設定済みのデータベースのパスワードが表示されますので、パスワードに間違いがないことを確認してください。



- (3) 「グラフィックボードの選択」で、サーバーで使われている GPU ボードがリストで表示されます。ドライバーが対応していない場合、警告が表示され[キャンセル]ボタンが表示されます。

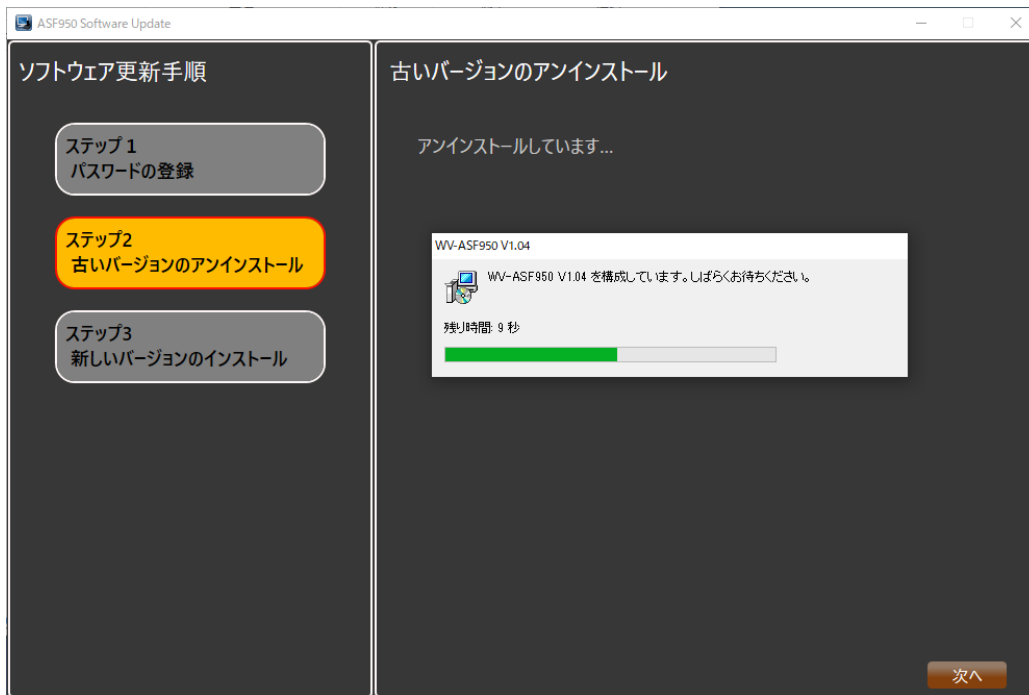


GPU ボードのドライバーのバージョンを 471.68 以上に更新後、再度アップデートツールを起動してください。

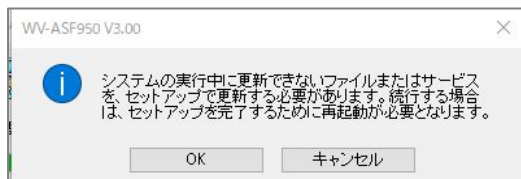
- (4) [次へ]ボタンが表示されている場合は、[次へ]ボタンを押します。



(5) 古いバージョンの WV-ASF950 のアンインストールが自動的に始まります。



古いバージョンの WV-ASF950 をアンインストール後に PC の再起動を促すメッセージが表示される場合がありますが、再起動はせずにアップデートツールの表示にしたがって操作を進めてください。

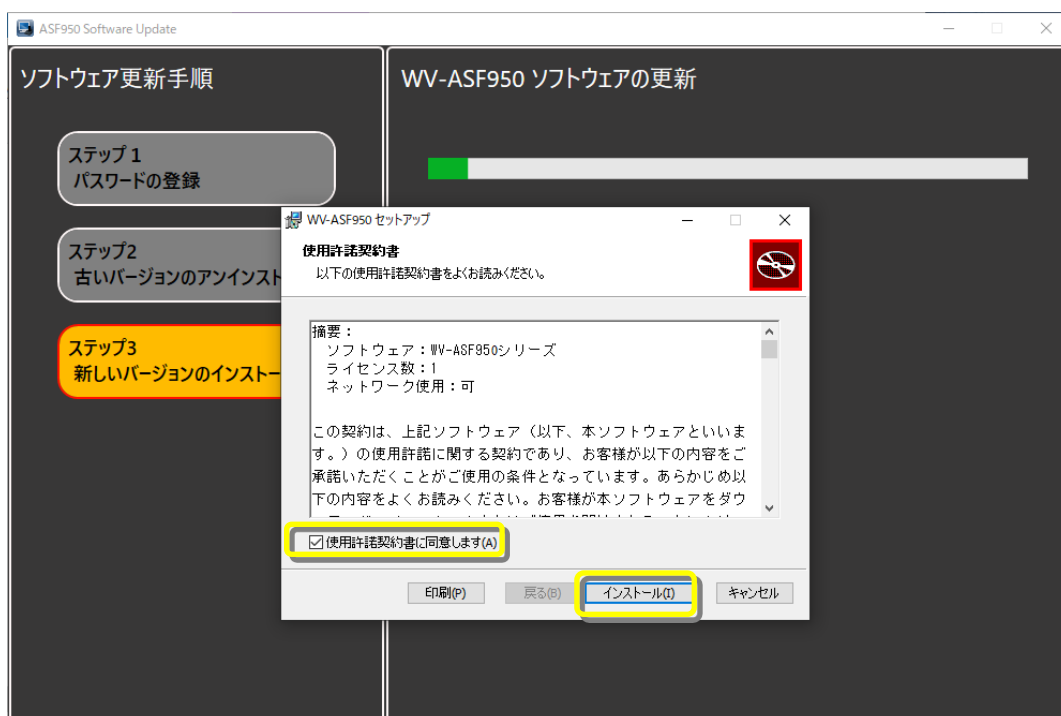


(6) 古いバージョンの WV-ASF950 のアンインストール終了が表示されたら、「次へ」ボタンで進んでください。





(7) 新しいソフトウェアのインストールが始まりますので、「使用許諾契約書に同意します」にチェックをし、「インストール」ボタンをクリックしてください。



(8) インストール完了後、「完了」をクリックします。

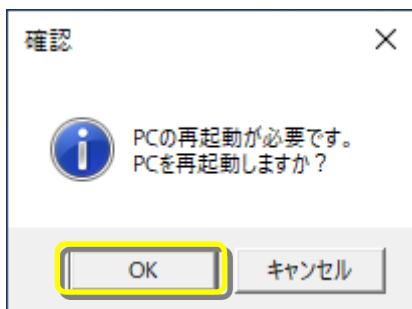


(9) 環境設定などが始まります。

「ソフトウェア更新完了しました。」と表示されますので、[終了]ボタンを押してアップデートを終了します。



(10) 再起動のダイアログが表示されますので、OK ボタンを押して、PC を再起動してください。



1

2

3

4

5

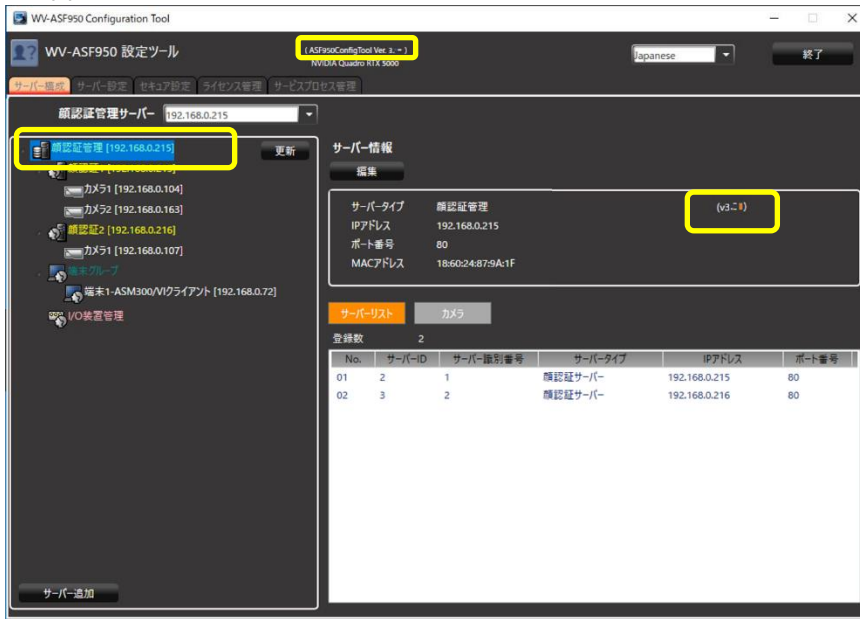
### 3. システムの起動

(1) Config ツールを起動します

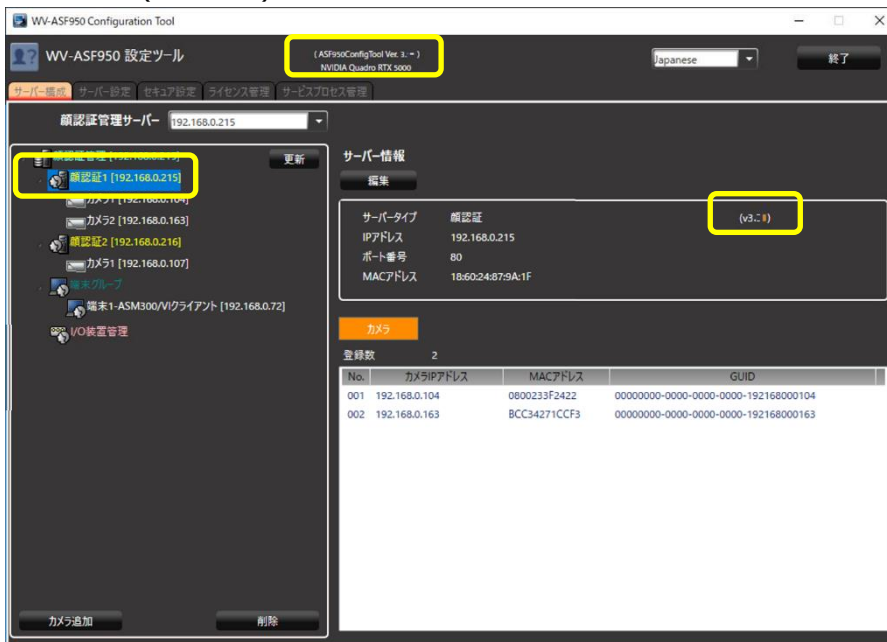
(2) Config ツールのバージョンが「V4.11」になっていることを確認します。  
サーバーのバージョンが「V4.11」になっていることを確認します

#### 【マスターサーバーの場合】

顔認証管理サーバーのバージョンを確認します。

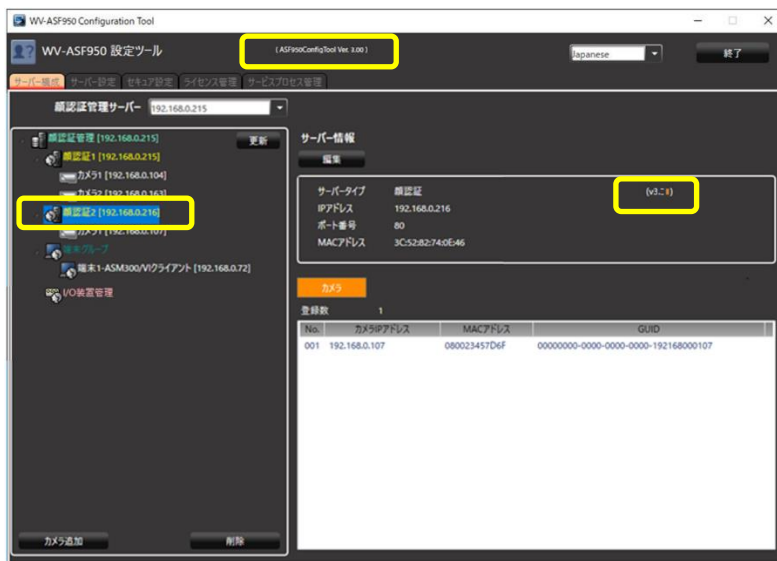


顔認証サーバー(顔認証 1)のバージョンを確認します。



### 【スレーブサーバーの場合】

顔認証サーバー(顔認証 2 以降)のバージョンを確認します。



(3) Config ツールの「サービスプロセス管理」タブをクリックします。

すべてのプロセスが「実行中」となっていることを確認し、「Exit」ボタンをクリックします。

1

2

3

4

5

## 4. アラーム感度の調整

V1.xx/V2.xx/V3.xx から V4.xx へバージョンアップすると顔認証エンジン変わるため、アラーム感度の再調整が必要になる場合があります。

本システムでは、さまざまな環境での検証結果から顔登録におけるアラーム感度の推奨値を

**マスク無し : 1.04    マスクあり : 1.12**

としています。

ご使用の環境や登録されている顔画像によって、その感度は変わってきますので、推奨値をベースに現場でアラーム感度を調整してください。

登録顔	アラーム感度推奨値
マスク無し	<b>1.04</b>
マスクあり	<b>1.12</b>

### 4.1. 個別に登録人物を選んで、アラーム感度を調整する

(1) WV-ASM300 の顔検索画面の左下にある「人物情報管理」ボタンをクリックします。



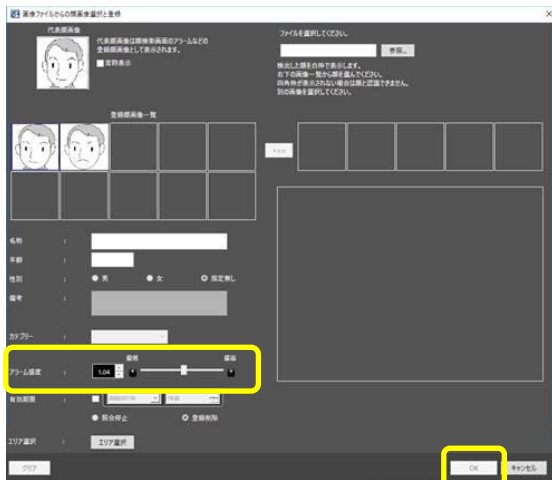
(2) 人物情報一覧画面が表示されます。

アラーム感度を調整する人物を選択して、「修正」ボタンをクリックします。



(3) 画像ファイルからの顔画像選択と登録画面が表示されます。

アラーム感度を上下ボタンやスライダーで「1.12」に設定し、「OK」ボタンをクリックします。



#### 4.2. 一括でアラーム感度を[1.12]に調整する

アラーム感度が 1.12 未満の登録人物を、バッチファイルで一括して 1.12 に調整します。

すでにアラーム感度が 1.12 以上に設定されている場合は、バッチファイルを実行してもアラーム感度は変更されません。

(1) マスターサーバーのデスクトップなどに、バッチファイル「アラーム感度一括変更バッチ(1.12).bat」をコピーします。

※[https://sol.panasonic.biz/security/cgi-bin/ipro/download/tbookmarka\\_m.cgi?m=%20&mm=2018092115504368](https://sol.panasonic.biz/security/cgi-bin/ipro/download/tbookmarka_m.cgi?m=%20&mm=2018092115504368)  
からダウンロードしてください。

コピー後、バッチファイルをダブルクリックで実行します。

新しいアラーム感度を「1.12」に設定する場合は Y または y を入力後、ENTER キーを押してください。

(キャンセルする場合は N または n を入力後、ENTER キーを押してください。)

次にデータベースのパスワードを入力して、ENTER キーを押します。

```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
=====
このバッチファイルは、WV-ASF950シリーズの
アラーム感度を[1.12]へ一括変更するバッチファイルです。
このバッチファイルはマスターサーバーで実行してください。
WV-ASF950の動作中にこのバッチファイルを実行しても問題ありません。
          アラーム感度 一括変更バッチ V1.00
      パナソニックイープロセンシングソリューションズ(株)
=====
新しいアラーム感度を「1.12」で設定しますか？(Y/N)
Y
(再確認) 新しいアラーム感度を「1.12」で設定しますか？(Y/N)
Y
データベースのパスワードを入力してください >> Abc123!#$
```

- (2) バッチ処理が正常に完了すると、下のメッセージが表示されます。  
変更したアラーム感度は、10 秒ごとに 20 件ずつ運用状態へ反映されます。

```
データベースのパスワードを入力してください >> Abc123!#$
UPDATE 30000
=====
新しいアラーム感度が一括設定されました。
(10秒ごとに20件ずつ運用状態へ反映されます。)

任意のキーを押してバッチファイルを終了し、
この画面を閉じます。
=====
続行するには何かキーを押してください . . .
```

- (3) エラーが発生した場合は、下のようなメッセージが表示されます。  
データベースのパスワードを確認して、もう一度バッチファイルを実行してください。

```
データベースのパスワードを入力してください >> abc
psql: FATAL: password authentication failed for user "postgres"
=====
エラーにより、変更できませんでした。

任意のキーを押してバッチファイルを終了し、
この画面を閉じます。
=====
続行するには何かキーを押してください . . .
```

### 4.3. 新規に登録する場合の初期値を変更する

新規にアラーム通知する顔を登録する場合のアラーム感度の初期値を、あらかじめ指定した値に変更しておくことが可能です。

- (1) WV-ASM300 を終了します。
- (2) エクスプローラーを実行し、  
「C:¥Program Files (x86)¥Panasonic¥asm300¥aplxml」フォルダ  
を開きます。  
「constants.xml」ファイルをデスクトップなどにコピーします。

※ 32 ビット版 Windows をお使いの方は、  
「C:¥Program Files ¥Panasonic¥asm300¥aplxml」フォルダ  
に「constants.xml」ファイルがあります。

(3) メモ帳などで「constants.xml」ファイルを開き、下線の値を変更します。

```
<!-- 顔検索モニター顔登録アラーム感度初期値(0.00~2.00) -->  
<constant name="AlarmSensitivity" value="1.04" />
```

ファイルを保存後、

「C:¥Program Files (x86)¥Panasonic¥asm300¥aplxml」フォルダに「constants.xml」ファイルを上書きコピーします。

※ 32ビット版 Windows をお使いの方は、

「C:¥Program Files ¥Panasonic¥asm300¥aplxml」フォルダに「constants.xml」ファイルを上書きコピーします。

(4) WV-ASM300 を起動し、顔検索画面の左下にある「人物情報管理」ボタンをクリックします。



(5) 人物情報一覧画面が表示されます。

「新規登録」ボタンをクリックします。



(6) 画像ファイルからの顔画像選択と登録画面が表示されます。

アラーム感度が、(2)で設定された値になっているか確認します。





1

2

3

4

5

## 5. カメラ情報の更新

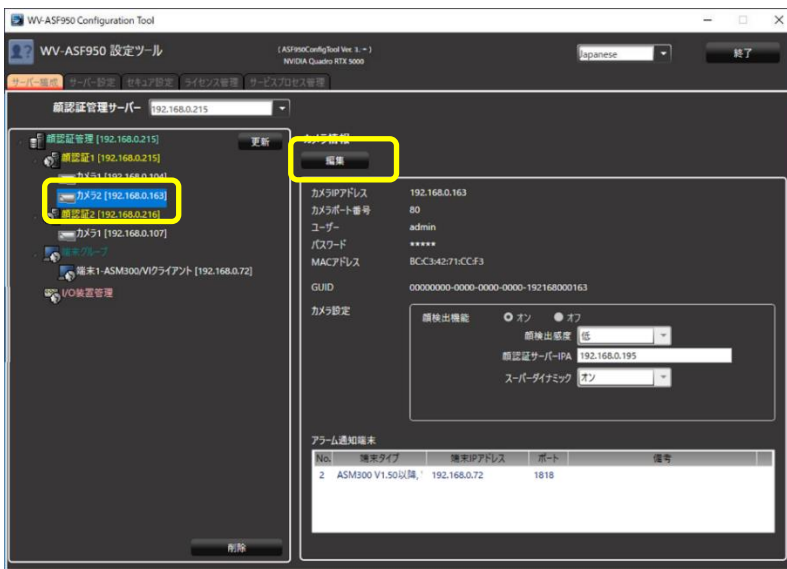
カメラのマスク顔検出機能を使うときは、対象のカメラ（i-PRO EXTREME シリーズのサポート機種のみ）のファームウェアを V2.00 以降へバージョンアップした後、サーバーのカメラ情報を更新する必要があります。

(1) マスターサーバー上で、Config ツールを起動します

(2) 「サーバー構成」タブを選択します。

情報更新するカメラを選択し、「編集」ボタンをクリックします。

カメラ設定画面が表示されます。



(3) 「接続」ボタンをクリックします。

「接続完了」と表示され、Config ツールがカメラの情報を取得しなおします。



マウス顔検出の設定メニューが表示されるので、検出レベルをプルダウンメニューから選択します。

※「高」が推奨レベルです。

設定後、「更新して閉じる」ボタンをクリックします。



(4) 他のカメラについても、(2)-(3)の手順を繰り返します。

(5) 設定を反映させるため、「サービスプロセス管理」タブで、すべてのサービスプロセスを停止し、再度開始します。



(6) **他の PC のスレーブサーバー**がある場合、同じように、「サービスプロセス管理」タブで、すべてのサービスプロセスを停止し、再度開始します。

## 顔認証サーバーエラー通知ツールのバージョンアップ

顔認証サーバーエラー通知ツールのバージョンアップを、ツールがインストールされているクライアント PC で行います

1

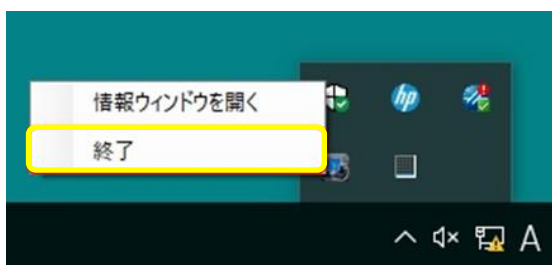
2

3

### 1. アンインストール

旧バージョンの顔認証サーバーエラー通知ツールがある場合のみ実施してください  
(バージョン 3.xx のツールをお使いの場合)

- (1) デスクトップの右下に表示されるアイコンを右クリックして「終了」をクリックし、終了確認メッセージで「はい」をクリックしてツールを終了してください。



- (2) [コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール]または[プログラムと機能]を選択します。
- (3) [プログラムのアンインストールまたは変更]画面に表示されているプログラムから、「WV-ASF950 エラー通知ツール」を選択し、「アンインストール」ボタンをクリックします。
- (4) 画面の指示に従ってアンインストールします。

※アンインストール後に PC の再起動は必要ありません。

1

2

3

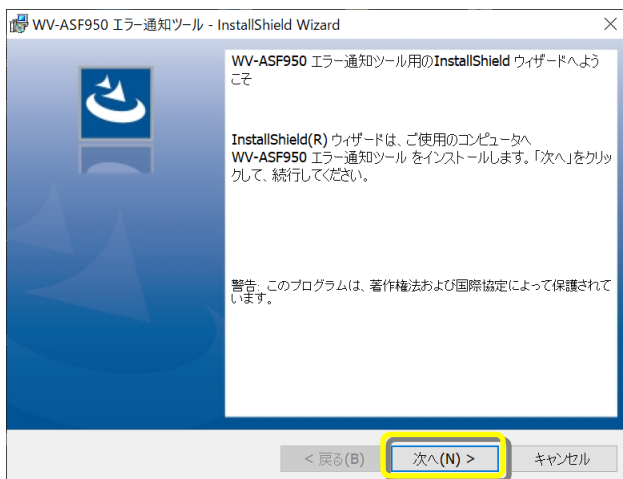
## 2. インストール

(1) 「UpdateTool\_for\_ASF950\_V1-V3\_to\_V4\_11¥Error Notification Tool」フォルダ を、Config ツールで端末に登録した PC 上にコピーします。

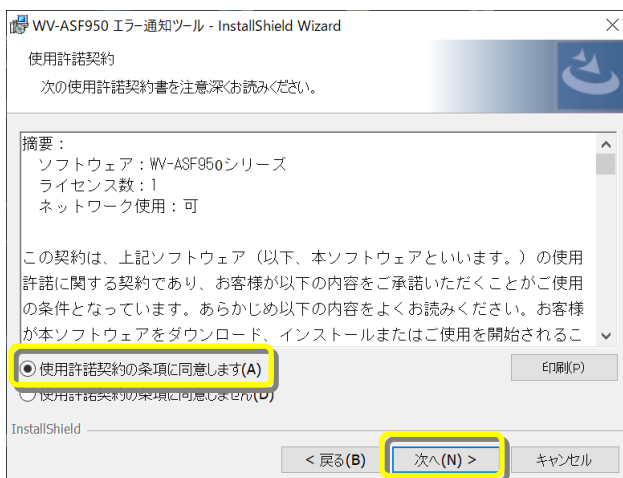
(2) コピーした PC 上で「Error Notification Tool」フォルダ内の「WV-ASF950\_Error\_Notification\_Tool\_Setup\_vxxxxJ.exe」を実行します。

※ \*\*\*\*にはバージョン情報が入ります。

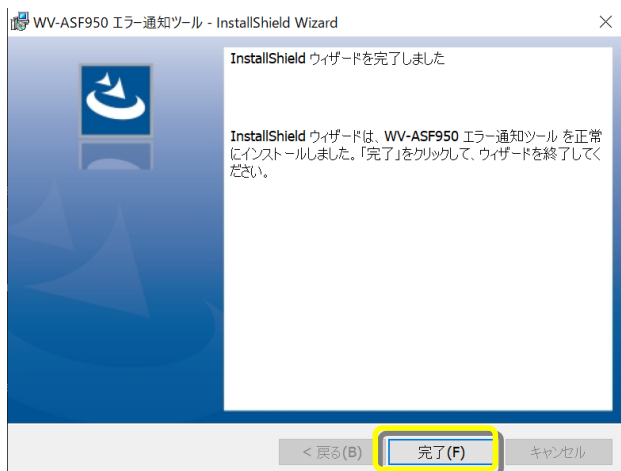
(3) 「次へ(N)」ボタンを押します。



(4) 「使用許諾契約の条項に同意します(A)」を選択し、「次へ(N)」ボタンを押します。



(5) 顔認証サーバーエラー通知ツールのインストールが始まります。インストールが終了したら「完了(F)」ボタンを押して終了します。



1

2

3

### 3. サーバーの登録

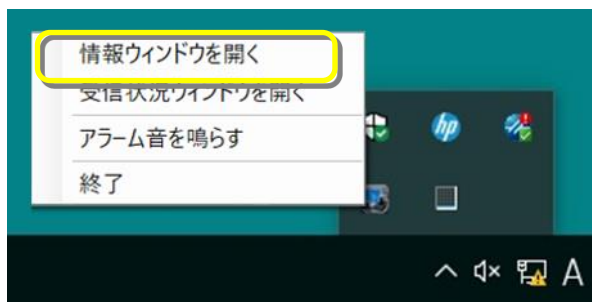
新規インストール時もしくはシステム構成を変更する場合に実施してください。

※設定していた IP 情報はアンインストール後も残るため、最新版をインストール後に再度サーバーの登録をする必要はありません

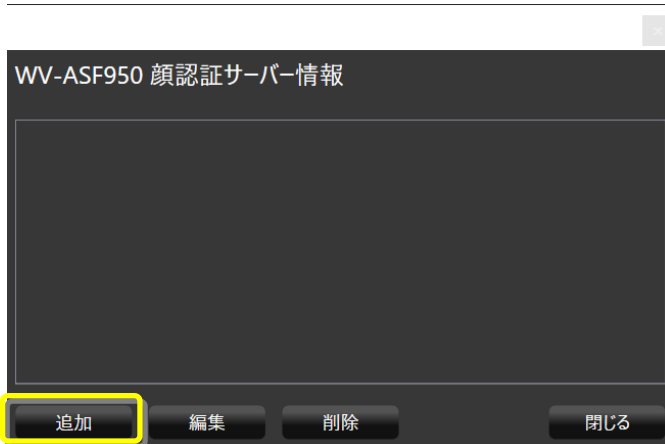
(1) デスクトップ上にある「WV-ASF950 エラー通知ツール」をダブルクリックして顔認証サーバーエラー通知ツールを起動します。

※自動起動はしないため、インストール後はショートカットから必ずツールを実行してください。

(2) タスクトレイに表示されるアイコンを右クリックして「情報ウィンドウを開く」をクリックします。  
顔認証サーバー情報ウィンドウが表示されます。



(3) 「追加」ボタンをクリックします。  
WV-ASF950 サーバー登録画面が表示されます。



(4) IP アドレスを入力します。

サーバーの SSL を On にしている場合、「SSL」にチェックをします。

サーバー種別は「マスター」にチェックがついていることを確認します。

設定後、「追加」ボタンをクリックします。



顔認証サーバー情報に登録したマスターサーバーが追加され「状態[OK]」が表示されることを確認します。



「状態[OK]」にならない場合は、IP アドレスが正しいか、ネットワーク機器に、顔認証サーバーのサービスプロセスが起動しているかを確認してください。

(5) 他のマスターサーバーやスレーブサーバーがある場合、(3)-(4)の手順でサーバーを追加します。スレーブサーバーを追加する場合、マスターサーバーを選択した状態で「追加」ボタンをクリックします。